

医療機関専用電話予約ダイヤル:03-5269-7538

第14号 (令和6年6月15日発行)

東京女子医科大学病院 基本理念・基本方針

行動目標(5Sの精神)



基本理念: 患者視点に立って、安全・安心な医療の実践と高度・先進医療を提供する。

- 基本方針: 1. 誠実な慈しむ心(至誠と愛)をもって、患者視点に立った、きめ細やかで温かい心の通った医療を実践します。 2. 先進医療の推進や高度医療の提供に尽力し、質の高い安全な医療を提供します。 3. 医療連携をとって地域医療により一層貢献します。 4. 明日を担う人間性豊かな医療人の育成をめざし、充実したカリキュラムや実践的な研修プログラムを実施します。 5. 本学の特性を活かして女性医療人を育成し、働く環境を創出します。

<第14号 TOPICS>

- 1. 新病院長 挨拶 2. 診療連携部門担当副院長 挨拶 3. 新任教授・診療部長 挨拶 4. 医療連携・入退院支援部 新運営部長 挨拶 5. 大学図書館の利用再開について

1. 新病院長 挨拶 病院長 肥塚 直美

2024年4月1日付をもちまして病院長を拝命した肥塚直美(ひづかなおみ)です。東京女子医科大学病院の運営にいつもご協力いただいている皆様に、この場をお借りしてご挨拶申し上げます。



東京女子医科大学病院は、建学の精神「医学の蘊奥(うんおう)を究め兼ねて人格を陶冶し社会に貢献する女性医人を育成する」と理念「至誠と愛」のもと、1908年の開院以来、質の高い安全な医療の提供と、次代を担う医療人の育成に努めてきました。本学の理念に従って附属病院も運営され、その伝統は先人から脈々と引き継がれ現在に至っています。

最新の内科治療のほか、手術件数は年間8,000件を超え、低侵襲手術やロボットを用いた手術件数も多く高度な医療を提供しています。高度で適切な治療を提供するために約50の診療科があります。安心と安全を最優先して、患者さんファーストで多職種によるチーム医療を実践しています。かかりつけ医と連携し、地域住民の医療・介護を支える、かかりつけ医の先生方の意向も十分反映した病院づくりを継続し、地域における役割を果たしていく所存です。これからも、少しでもたくさんの患者さんに最良の医療を提供させていただきたいと考えております。

今後とも密に連携させていただき、患者さんのご紹介をよろしくお願い申し上げます。

## 2. 診療連携部門担当新副院長 挨拶

### 診療連携部門担当副院長

水主川 純 産科学分野 教授・基幹分野長



このたび、管理・診療連携部門の副院長を拝命しました水主川 純と申します。昨年度は、医療連携・入退院支援部運営部長として地域連携室の運営に携わってまいりました。今年度は、私は管理部長として医療連携・入退院支援部運営部長である明石定子教授とともに、地域連携に関わる職員が各々の専門的立場をいかし、地域の医療機関や福祉機関とも連携を図り、地域連携および地域医療により一層貢献できるように努めてまいります。

皆様のご意見に耳を傾けながら、地域連携室の運営に携わってまいりますので、ご協力、ご指導のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。

## 3. 新任教授・診療部長 挨拶

消化器内科学分野 教授・基幹分野長 中井 陽介



このたび、令和6年4月付けで消化器内科教授・基幹分野長を拝命いたしました。歴史と伝統ある東京女子医科大学消化器内科を担当させていただくことの責任を強く感じております。前任地である東京大学消化器内科では、私は特に専門性の高い診療が求められる胆道・膵臓疾患の診療グループ長また光学医療診療部部長として、内視鏡診療や薬物療法などの診療を広く行ってきました。自身の専門領域である胆道・膵臓疾患では、超音波内視鏡などの内視鏡を用いた膵臓の腫瘍や胆管結石や狭窄に対する低侵襲かつ先進的な診断・治療を多く経験してきました。当院においても胆道・膵臓疾患だけでなく、胃腸疾患や肝臓疾患でお困りの患者さんに最適な医療を提供できるように、消化器外科・消化器内視鏡科などの関連診療科や地域の先生方とも連携をして診療にあたっていきたいと思っております。何卒よろしくお願い申し上げます。

消化器内科ホームページはこちらから→

<https://www.twmu-ige.jp/gastroenterology/>



## 放射線腫瘍学分野 教授・基幹分野長 橋本 弥一郎

令和6年4月1日付けで放射線腫瘍科の教授に就任しました。私はこれまで東京女子医科大学病院で一貫してがん放射線治療に従事してまいりました。この20年間で、放射線治療技術の目覚ましい進歩があり、治療の考え方も大きく変わりました。例えば、強度変調放射線療法や体幹部定位照射、画像誘導放射線治療を用いてこれまで根治を望めなかった腫瘍に対して根治線量を処方することが可能になりました。1回線量を増やし照射回数を減らした短期照射（寡分割照射）へもシフトしています。骨転移などでは即日照射や1回照射も行っています。



私たち（放射線腫瘍科）の抱負は『あきらめない医療を実践し、がん患者に希望を与えること』です。放射線治療は、がん治療において極めて重要な役割を果たしており、多くのがん患者にとって希望の光となる治療であると考えています。患者一人ひとりの笑顔と健康を守るため、日々の業務に全力を尽くしてまいります。皆様のご支援とご協力を心よりお願い申し上げます。

放射線腫瘍科ホームページはこちらから→

<http://twmu-rad.info/>



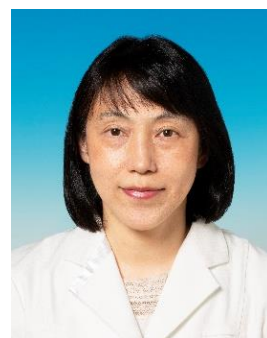
## 救急医学分野 教授・基幹分野長 森 周介

この度、令和6年5月1日付で救急医学分野教授・基幹分野長を拝命いたしました。本教室は約30年に渡り地域医療はもとより救急医学全般に多大なる貢献をしてきた歴史があり、この伝統を大切にしながらさらなる発展を目指してまいります。自身は国内で約10年間外科、救急を修練し、米国医師免許を取得後、ニューヨークの外傷センターで2年間の臨床フェローシップを修了、さらに米国で外科スタッフとして多くの手術症例を経験しました。今後も高水準の重症疾患、外傷診療の提供を追求し、大学の基本的役割である教育、研究にも邁進してまいります。本学の体制で特筆すべきは、本院、足立医療センター、八千代医療センターのいずれもが救命救急センターの指定を受けていることで、今後はより一層病院間の連携を深め、地域医療への貢献、ならびに教育、研究機関として多くの研究者、医療従事者の輩出に努めてまいります。何卒よろしくようお願い申し上げます。



## 血液内科学分野 教授・基幹分野長 瀬尾 幸子

令和6年4月付けで内科学講座 血液内科学分野教授・基幹分野長を拝命いたしました。私はこれまで、血液疾患根治のために、国立がん研究センター中央病院、虎の門病院、東京大学附属病院で造血幹細胞移植の研鑽を積んでまいりました。また、国立がん研究センター東病院では、新規薬剤開発という先端医療に関わる一方で、緩和・在宅医療という地域の医療機関との連携に積極的に取り組んでまいりました。



昨今は価値観が多様化しており、患者さん、ご家族の治療に対する希望や幸せのあり方は様々です。私たちは患者さん、ご家族の希望に沿える治療の提供を目指すとともに、遠方から来院されている患者さんに対しては、地域の医療機関の先生方と連携を図りながら、患者さんが安心して治療できる環境を提供していきたいと考えております。みなさんに愛され、信頼される科となりますよう精進してまいります。どうぞよろしくお願い申し上げます。



血液内科ホームページはこちらから→

<https://www.twmu.ac.jp/dh/>



## 腎臓小児科学分野 教授・基幹分野長 三浦 健一郎

令和6年5月1日付けで腎臓小児科教授を拝命しました。当院は全国の大学病院の中では唯一、腎臓小児科を標榜しており、学校検尿異常の患者さんから腎炎、ネフローゼ症候群、そして透析や腎移植を必要とする末期腎不全の患者さんまで、小児腎疾患を幅広く診療しています。特にネフローゼ症候群や腎移植などの研究に積極的に取り組んでいます。透析治療や腎移植は小児外科、泌尿器科、移植管理科、血液浄化療法科などの関連診療科との連携が欠かせませんが、当院ではこれらの科の協力を得て万全の体制で診療できることが大きな特色です。



地域の医療機関の先生方におかれましては、学校検尿異常や先天性水腎症をはじめ、腎尿路に関することであれば何でもお気軽にご連絡いただき、また患者さんをご紹介いただければ幸いです。どうぞよろしくお願いいたします。

腎臓小児科ホームページはこちらから→

<https://www.twmu.ac.jp/TWMU/Medicine/RinshoKouza/093/>





#### 4. 医療連携・入退院支援部新運営部長 挨拶

医療連携・入退院支援部 運営部長

明石 定子 乳腺外科学分野 教授・基幹分野長



このたび、令和6年4月1日付で現 水主川 純 副院長の後任として医療連携・入退院支援部運営部長を拝命いたしました外科学講座 乳腺外科学分野 明石定子と申します。

初診予約の電話がつながりにくいとお叱りを受けることがありますが、web 予約（下記 URL）、FAX 予約（03-5269-7387）の他、医療機関専用予約ダイヤル（03-5269-7538）、連携登録医に登録いただくことでお伝えしている専用予約ダイヤルも設け、連携の強化を図っております。まだ連携登録医にご登録いただいていない場合は是非とも地域連携室 [chiiki-renkei.bm@twmu.ac.jp](mailto:chiiki-renkei.bm@twmu.ac.jp) までご一報下さい。

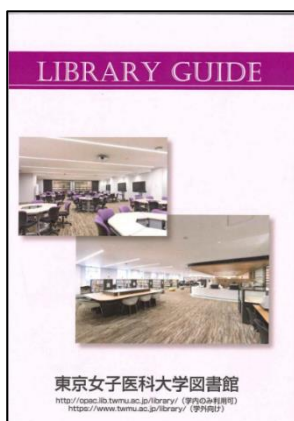
東京女子医科大学病院の基本理念は「患者視点に立って、安全・安心な医療の実践と高度・先進な医療を提供する」です。この理念を実現するために、それぞれの診療科や部署の皆様のご意見に耳を傾けながら、医療連携・入退院支援部の運営に携わってまいりますので、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

★web 予約はこちらから→

<https://www.twmu.ac.jp/twmu-form/reserve-form-sw/>



#### 5. 大学図書館の利用が再開いたします！



2020年より新型コロナウイルス感染予防のため、外部の方の利用を制限させていただき、連携登録医の先生方にはご不便をおかけしてまいりましたが、本年6月よりご利用いただけることになりました。ぜひご利用ください。なお、ご利用の際には、登録時にお送りしております「連携登録医カード」（右図）をご提示いただき、マスク着用、手指消毒の徹底をお願いいたします。登録医カードがお手元がない場合は誠に恐れ入りますが、再発行いたしますので、地域連携室までご連絡ください。



大学図書館の詳細はこちら→ <http://www.twmu.ac.jp/library/>



★★

外来診療担当表はこちら ↓

<https://www.twmu.ac.jp/info-twmu/shinryo.html>

Webでの予約申し込みはこちらか ↓

<https://www.twmu.ac.jp/twmu-form/reserve-form-sw/>

FAX診療申込書はこちらをご使用ください。 ↓

<http://www.twmu.ac.jp/info-twmu/SW/reservation/reservation.html>



★★

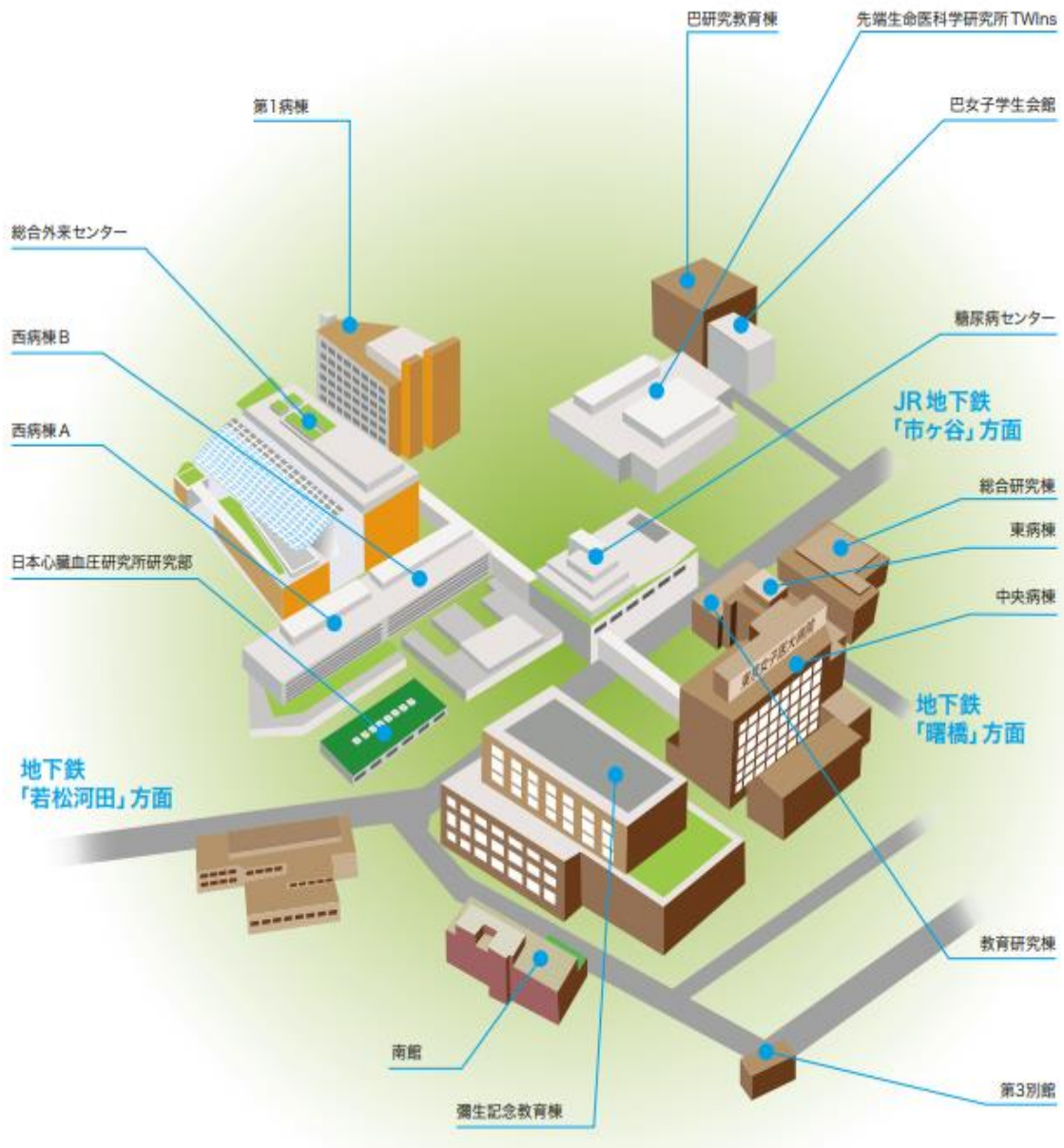


最後までお読みいただきありがとうございました。

ご意見・ご要望などございましたら、地域連携室までご連絡いただければ幸いです。

※当メールマガジン全文（添付ファイル含む）又は一部の無断転載および再配布・再配信を禁じます。

# 構内見取図



## ご案内図



◎地下鉄

都営大江戸線 ②若松河田駅下車(若松口より徒歩約5分)

③牛込柳町駅下車(西口より徒歩約5分)

都営新宿線 ④曙橋駅下車(A2出口より徒歩約8分)

◎都営バス

宿74系統 ①新宿駅西口→東京女子医大前

宿75系統 ①新宿駅西口→東京女子医大前←⑧四谷駅前←三宅坂

早81系統 早大正門→⑤馬場下町(早稲田駅)→東京女子医大前←⑥四谷三丁目←千駄ヶ谷駅前←原宿前←渋谷駅東口

高71系統 ⑦高田馬場駅前→東京女子医大前←⑨市ヶ谷駅前←九段下

★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★

発行：東京女子医科大学病院 医療連携・入退院支援部 地域連携室  
〒162-8666 東京都新宿区河田町 8-1

TEL：03-5269-7160（直通）FAX：03-5269-7387（直通）

Mail：[chiiki-renkei.bm@twmu.ac.jp](mailto:chiiki-renkei.bm@twmu.ac.jp)（メールマガジン専用）

※ご意見・ご要望などはこちらからお願いいたします。

URL：<http://www.twmu.ac.jp/info-twmu/index.html>

★診療予約は医療機関専用電話予約ダイヤルへ

TEL：03-5269-7538

★患者様のご紹介はFAX・Webからも受け付けています。

<https://www.twmu.ac.jp/infotwmu/index.html>

ぜひご利用ください。

★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★

